

Q & A の一例を紹介!

実際のページは以下をご覧ください



既にクラウドファンディングで ご支援いただいた方の声

専門家の方々の知見で、子どもたちの心が明るくなればと切に願っています。

誰かが行動を起こさなければならないこと、頭では分かっているけど、なかなかできない。ともに一歩踏み出すきっかけを作ってくれました。ありがとうございます。

連合も

このプロジェクトを応援しています。
「ゆにふあんクラウドファンディング」
にご協力をお願いします。



プロジェクト名

【新型コロナ】【災害ストレス】#子どもの心のケアプロジェクト

締切

2020年9月7日(月) 23:00まで

目標額

112万円

詳しくはこちら



Q 保護者 学校に行かなくなってから、子どもの落ち着きがなくなってきました。夜もあまり眠れていないようです。どのように接したら良いでしょうか。

A 人は、危機が迫ると、心拍を早めて立ち向かおうとします。それがイライラや落ち着きのなさ、眠りを妨げてしまっています。「毎日、コロナウイルスのニュースで心配だね、こんなときは誰でも、心と体が不安定な状態になることがあるんだよ。全力をあげて立ち向かおうとしているんだよ」と話してあげましょう。気持ちを落ち着ける呼吸法や一度身体に力をいれてから、一気に力をぬくリラックス法など、親子でリラックス法を練習するのもいいでしょう。



【参考】・社会応援ネットワーク「災害時や緊急時に～すぐできる! ストレスマネジメント実践集」
・国立成育医療研究センター「新型コロナウイルスと子どものストレスについて」

プロジェクトの今後と クラウドファンディング

今後は、再開された学校現場へのヒアリングなどを通じて内容をアップデートし、「第二波」の襲来にも迅速に対応できるような情報発信を続けることが求められる。また、「心のケア」は平常時においてもいじめや不登校への対応に有用ともされている。様々な分野の専門家に監修を依頼し、情報掲載とネットワーク拡大を通じて、子どものケアに関するポータルサイトや新時代の専門メディアへ発展していくことも期待される。



学校での取材時の様子

2020年4月の特設ページ新設にあたり、専門家、イラストレーター、ウェブデザイナー、編集者などが無償で全面的に協力した。継続的に確かな情報を発信するため、現在クラウドファンディングに挑戦している。

ねえ、つながっちゃお!! ゆにふあん活動事例集

第4回

社会応援ネットワーク

【新型コロナ】【災害ストレス】
#子どもの心のケアプロジェクト

クラウドファンディング

「ゆにふあん」とは、労働組合独自で展開しているボランティア活動や、地域でお付き合いのあるNPO・NGOなどと連携した活動を「見える化」して、個人の意思で活動に参加することや、物資や資金などを支援することができる仕組み。「支え合うこと、助け合うこと」をもっと身近に、そして社会に広げていく。

第4回は、日本教職員組合推薦団体の社会応援ネットワークが運営する「【新型コロナ】【災害ストレス】#子どもの心のケアプロジェクト」を紹介する。

子どもや教職員・保護者の心を支える「社会応援ネットワーク」

「私たちにできるのは、子どもたちへの励ましのメッセージを送り続けること」。東日本大震災後、そんな思いで、全国の小・中学校に無料配布している「子ども応援便り」編集部の有志が立ち上げた団体が「社会応援ネットワーク」だ。設立以来、被災地の子どもたちや教職員、保護者の心のケアに取り組むほか、防災教育やパラスポーツ体験授業など教育現場の声に応えた活動を続けてきた。



防災教育の教材開発や普及にも取り組む

全国の小・中学校で活用される「子ども応援便り」

「#子どもの心のケアプロジェクト」とは?

新型コロナウイルスの感染拡大により全国的に小・中学校が休校となり、子どもたちを取り巻く状況は一変した。感染対策や心のケアに関する真偽が確かではない情報が飛び交い、団体には「どの情報を信じれば良いのか」など教職員や保護者から不安の声が多く寄せられたという。

そこで「学校支援を続けてきた自分たちだからこそできることを」と、心のケアに詳しい各分野の専門家の協力のもと、Q & A形式で保護者や教職員の悩みに答える特設ページを開設。「正確で整理された情報」を配信することで、刻一刻と変化する子どもたちの問題に対して、対処できるようにと本プロジェクトは開始された。



子ども応援便りのホームページ上で発信

ゆにふあんマップを
のぞいて!

